

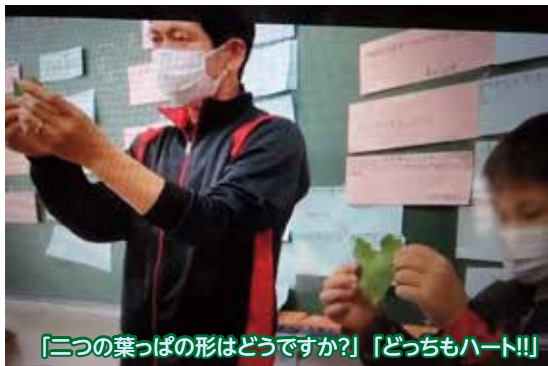
# 2022年度 地球をまもる子どもたち

## 「ぐんぐんそだてわたしのやさしい」

新島村連携型一貫教育 研究授業◎新島小学校2年14人 生活科◎10月19日

指導者／古屋陽平先生◎オンライン講師／SOE寺田

《関連SDGsゴール・15陸の豊かさを守ろう・2飢餓をゼロに 他》



「二つの葉っぱの形はどうですか?」「どっちもハート!!」

「ベニハルカのものから根っこが出ている!」「この葉っぱはたて9cm7mmある」「アメリカいもの茎の中にしろい汁がある」「ベニハルカも白い汁があるがすぐ乾く」「アメリカいものは根っこの色が白い」

古屋先生の授業は、子どもたちが育ててきた「いも」の実物を見ながら、うれしそうに始まりました。



アメリカいもグループ(青短)とベニハルカグループ(ピンク)が根っこ・芋・茎・葉っぱごとにきづきを記入、80枚!

先生「気づいたことたくさん書いて～・茎・根っこ・葉っぱ・いも」先生「色・手触り・形とか気づいたら書いて」～「葉っぱもみじみたい」「茎の中にしろい汁がある」さらにいもの輪切りを配布、同じ意見は上に重ねて貼っていく。先生「違うところも見つけて」～「根っこの色が違う」「根っこの長さが違う」「葉の形が違う」「中の色がちがう」



2年生が80枚以上も、観察結果を掲示!

先生方の研究会協議会より「子どもたちの反応が良かった」「貼ることで人のものを見て貼れた」「古屋先生の観察の手法になれている、比較ができた」／SOEからの感想「2年生の観察力をはるかに超えて、2つのいもグループがよく観て、4つの視点ごとに、比較していた。地元産のアメリカいもとベニハルカの相似・相違を触感・視覚的に捉えさせている。科学する力をつけていた。アメリカいもは、明治に伝わり、やせ地を好み砂地に合い生活を支えている」

まず、いもをほり、根・芋に触る、観る



**SOE NEWS**  
No.189  
2022年 12月  
  
センスオブアース  
市民による自然共生  
パンゲア  
平成27年度地球温暖化防止活動  
環境大臣表彰受賞団体

# 大豆ってすごいぞ 板橋第七小学校 学校公開授業 3年1・2組◎10月22日 1～4校時



☑️ サイズはすごくて、栄養とか、元気のパワーを出してくれてる食べものだって知った ☺️ 大豆は豆腐や油揚げに変身するのは知っていたけど、それ以外にも大豆は変身するって知って驚いた ☑️ 大豆は小さいのにパワーがいっぱい ☺️ 大豆は育てていると枝豆になるんだな ▼ しょうゆは大豆からできていてすごい ☺️ 枝豆が育ったら大豆になることが分かった ☑️ いろいろな食べものになって驚いた ☺️ もやしが大



大豆からできているということを知った ☑️ 2000年前から大豆が食べられてたくさんの栄養になっているということ ◆ いろんなご飯のおかずになっている ☹️ 大豆の生産はほとんど、外国！



大豆ができれば、作りたい  
一位とうふ 二位納豆  
三位みそ・しょうゆ 四位あげ

先生方より「秋という少し学ぶには遅い時期にもかかわらず、先生方が熱心に子ども達に接して下さるおかげで、大豆の良さをより感じる事ができた。パワーポイント、紙芝居、種の観察と活動がたくさんあり、その中で児童は親しみを感じていた。児童がとても理解できていた。一人一人が自分の大豆をしっかりと育てて収穫したいと思っている」



(今回、楽しくダイズを学びました。子ども達の意欲・感動はすごかったです。その後の、秋の発芽は残念でしたが、春本番でまたね…SOE)



# 葉っぱとお花でファッションショー

白鳩保育園(板橋区)◎3歳児19人◎赤塚公園◎11月2日



広い赤塚公園で、秋の自然の贈り物とお花をたくさんもって、シャツとカンムリに、くっつけて、ちょっと気取って踊りました。



楽しい音楽が鳴って、さあ、おどろう



先生~これつけて~

満足して、丸太の馬に乗りました。自然の贈り物で飾って楽しみました。



もっと頭をっこよく飾りたいんだけどな!

# どんぐりコロコロ お山は大さわぎ

白鳩保育園(板橋区)◎5歳児20人◎10月28日



どんぐりコロコロの歌で始まるプログラム。紙芝居は、ドジョウのおじさんにきたえられたどんぐりの小太郎が、森があって困っている農家の人を助けるために、すもうで勝ちます。森を助けにふもとに降りて、土にもぐり、芽を出す紙芝居を見てから、どんぐりコマとトトロの人形を作りました。





# わた 育てた綿から糸をつまぎ、わた 綿人形を作ろう

私立ほっぺるランド成増保育園(板橋区)◎5歳児13人◎11月8日



集中して綿と種を分けている!

小さな種に向かって、真剣で集中力がすごいです。今日の活動で、糸を初めて引っ張り出しました。自分が分けた綿を入れて、



取れた綿を使って、かわいい紙人形を作りました



綿繰り機にはさむとすぐに綿が出てくる!

薄く広げて、中から、糸を引き出す活動は、むずかしいけど、みんな挑戦しました。



「みてみて〜、いどできた〜」

## 板橋区立もみじ保育園◎5歳児20人◎11月11日

綿の役目や、綿は何に使われているかについて真っ直ぐな手!すごい!



新しいことを学ぶのが楽しそう。秋の収穫でまた更に、現物で確認。しっかり綿の役目を学び取りました。



種と綿を手で分ける



綿繰り機、みんな真剣に見ていますね



糸を出すと、これでいいのかな?



みんなのおそろい 二十人姉妹人形

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052  
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp